

地下核実験の報道に接し、朝鮮民主主義人民共和国政府の行為に強く抗議する
【事務局長談話】

10月9日、朝鮮中央通信は朝鮮民主主義人民共和国政府が地下核実験を実施したと報道した。私たちはこの報道に接し、同国政府の行為は、21世紀を核兵器を廃絶し、人類の生存と平和的繁栄の世紀にしようとの全世界の願いと努力を根本から突き崩す蛮行として、強く抗議する。同国政府は核兵器開発を直ちに中止すべきである。

朝鮮民主主義人民共和国政府は日朝平壤宣言を履行し、6ヶ国協議の場につき、国際社会の一員として世界平和のための道を歩むべきである。国際社会はこれを求めている。

一方、軍事同盟である日米安保体制は東アジアの平和にとって最大の阻害要因である。今回の核実験を奇貨としてアメリカの核抑止力や日米の「集団的自衛権」が正当化されたり、日米同盟体制が強化されることがあってはならない。

日本科学者会議は人類の生存と平和的繁栄のために科学の成果を生かすことを目的に活動してきた。核兵器は原子力の軍事利用として科学の成果の最たる悪用であり、人類を破滅に導くものとして絶対に認めることはできない。原子力の軍事利用に反対し、20世紀最大の負の遺産である核兵器の廃絶に向けて引き続き取り組んでいきたい。

2006年10月11日

日本科学者会議
事務局長 五十子満大